

### 1. 単元名

ダムカレーから学ぶ「水源地の森」

### 2. 単元の目標

- ・きれいな川の水を流すために森林の果たす役割について知り、水源地の森を守るための活動や川上宣言に込められた願いについて理解する。(知識・技能)
- ・森林が行う自然の循環について考え、なぜ川上村が水源地の森を購入したり川上宣言をつくったりしたのかを考える。(思考・判断・表現)
- ・森林の働きや水源地の森、川上宣言に携わる人の思いにふれて水源地の森の保全やきれいな水を流すために自分達にできることを考える。(主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

本単元では川上村がPRしているダムカレーを教材化することで学習が始まり、水源地の森の役割や川上宣言の内容について学習を進めていく。このダムカレーは、「大滝ダム」「大迫ダム」そして「緑のダム」である水源地の森を表現している。この水源地の森がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのかについて考え、水源地の森が果たす役割について知ったり川上宣言に込められた思いについて考えたりすることで持続可能な社会へ参画する力を育成できると考えた。その理由は2つある。1つ目は自分達が生活する川上村には、きれいな川の水を流すために重要な水源地の森がある。この水源地の森について学習することは、川上村で生活する自分達がこの水源地の森を守るという責任感を育てられるからである。2つ目は川上村が水源地の森を購入したり川上宣言をつくったりする行動について考えることで川上村がきれいな水を下流に流すためにしている行動について知る。その素晴らしさをもっと多くの人に知ってもらい協力してもらいたいという考え方が育成できるからである。

本学級の児童は、1学期から森林の役割について学習し、吉野杉の特徴や林業の仕事内容などについて学習した。また、ゲストティーチャーとして林業に携わる梶本さん(児童の保護者)を招いて森林の役割について学習した。森林が光合成によって二酸化炭素を吸収し酸素をはき出すことや地球表面の土壌を守る働きについて理解した。児童達は学習の最初から意欲が高く、進んで森林の役割について理解しようとし、わからないことがあれば進んで質問したり調べたりする姿が見られた。また、2学期末にある総合的な学習の時間の学習発表会に向けてさらに意欲を高めている。今までの学習から2学期での学習も意欲的に取り組むことが予想される。

本単元では川上村のダムカレーを教材として水源地の森や川上宣言について学習を進めることから、これからの川上村を担う子ども達にとって非常に貴重な学習になると考える。水源地の森に携わる方や川上宣言をつくることに関わった方に出会い、その思いに触れることにより「自分たちの地域は、自分たちで守っていく。」という郷土に対する思いを育成させることにつなげていく。川上村に生活する自分たちが進んで源流の森を守ったりきれいな水を流したりするための具体的な行動を率先して行おうとするリーダーシップや、周りの人たちと協力しようとする協調性を育み、これからの持続可能な社会に参画する力を育てたい。

(SDGsへの貢献)

6：安全な水とトイレを世界中に

12：つくる責任つかう責任

14：海の豊かさを守ろう

15：陸の豊かさを守ろう

17：パートナーシップで目標を達成しよう

4. 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①きれいな川の水を流すために森林の果たす役割について理解する。 ②水源地の森を守るための活動や川上宣言に込められた思いについて理解する。	①森林が行う自然の循環について考え、なぜ川上村が水源地の森を購入したり川上宣言を作ったりしたのか考える。	①森林の働きや水源地の森、川上宣言に携わる人の思いにふれて水源地の森の保全のために自分たちにできることを考える。

5. 単元展開の概要（全7時間）

時	主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
1	・ダムカレーが表現している3つのダムについて考え、緑のダムの存在を知る。	・川上村のダムカレーがなぜこのような形をしているのか考えさせる。 ・森林がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのかについて考え、森林の果たす役割について考えさせる。	◇ア①
	なぜ、森林が「緑のダム」と呼ばれるのだろう。		
2	・森林がどのようにダムの働きをしているのかを考える。(インターネットや関連書籍で調べる)	学習課題：川上村はなぜ水源地の森を購入したのか。 ・ダムの働きから森林がどのような役割をしているのかについて考えさせる。 ・ダムの働きをしている森林がどのような場所か考えさせ、水源地の森に興味を持たせる。 ・なぜ川上村が水源地の森を購入したのか疑問を持たせる。	◇ア①
3	・水源地の森を見学し、森林の役割について学ぶ。 ・川上村が水源地の森を購入した理由を知る。	・実際に見学して水源地の森の様子を確認させる。(人工林と対比させながら) ・石の大きさ ・生き物の様子 ・木の大きさ ・緑の多さ ・これまで考えたことや調べたことが正しかった	◇イ①

		<p>たかを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川上村が水源地の森を購入した理由を知り、水源地の森が特別なものと言うことを確認させる。</li> <li>水源地の森を守るための川上村の行動以外にも川上宣言の内容にも興味を持たせる。</li> </ul>	
4 聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>川上宣言をつくることに携わった方を招いて、川上宣言に込められた思いを聞き取る。</li> </ul>	<p>学習課題：川上宣言は、川上村の人たちのどのような思いでつくられたのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川上村がきれいな水を流すために水源地の森や川上宣言を作ったことから、川上村が源流の村としての自覚のもと、率先して行動してきたことを理解させる。</li> </ul>	◇ア②
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>水源地の森が果たす役割や川上宣言に込められた思いを知り、きれいな水を流すために自分たちにできることを考える。</li> </ul>	<p>学習課題：</p> <p>行政以外に自分たちにできることはどのようなことなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが具体的にできることと周りの人たちに協力してもらうことについて考えさせる。</li> </ul>	◇ウ①
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取りをもとに自分たちにできる取り組みを、周りの人にどのように知ってもらうか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習発表会で学習したことを伝えようと意欲を高めさせる。</li> <li>自分たちが作ったブロッコリーをダムカレーに入れて源流の森のことを広められるように話し合う。</li> </ul>	◇ウ①
行政以外にも村民が取り組んでいることを聞き取り調査する。(家庭学習)			
7 会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>役場の方、ダムカレーを出しているお店の方を招いて自分たちが作ったブロッコリーをダムカレーに入れてもらうことを提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の3つを検討する。</li> <li>①学習発表会で自分たちが作ったブロッコリーを入れたダムカレーの販売開始を発表すること</li> <li>②チラシを作って宣伝すること</li> <li>③売り上げの一部を源流の森の保全に充てること</li> </ul>	◇ウ①